

木と塗料に関わる仕事で、「社員・顧客・社会」を Happyにして、「100年貢献カンパニー」へ



株式会社シオン
(矢巾町)
代表取締役

石川 公一郎

本年2月27日に、いわて産学連携推進協議会（リエゾン）の研究開発事業化育成資金をいただきました。共同研究機関ならびにお世話になりました皆様にご心より御礼申し上げます。

岩手発、業界最後発の木材用塗料メーカーとして

当社は2003年9月に創業、7月からは第17期を迎える「木材用塗料メーカー」です。通常、木材用塗料というと、シンナー臭がして、色も黄土色、茶色など無難な色しかなく、屋外で使用すると2年程度で剥げてくる、いわゆる「安かろう悪かろう」の商品があふれている業界です。大量生産・消費を前提とし、商社、問屋を介し、在庫を持ち合い、結果、薄利多売とならざるを得ない昔ながらのビジネスモデルです。

そんな木材用塗料業界に岩手から最後発で

参入したのが当社です。しかも、これまでの木材用塗料業界とは真逆のスタンスをとっています。

主成分は、体に良いと言われ食用にも使われる亜麻仁油です。原材料の安全性にとことんこだわり、いわゆるシンナー臭はしません。色もパステル色なども取りそろえ全66色と豊富で、屋外で最長8年持つ商品も有しています。

さらに、オーダーメイドが可能な小ロット多品種完全受注生産体制とし、直販が90%、在庫をほとんど持たないため、結果として高付加価値が実現しました。値段は通常の木材用塗料の約4倍と高額ですが、シックハウスの対応住宅、健康や環境を意識した生活スタイル「LOHAS」を志向した高級住宅、安全性第一の学校、保育園等にニーズがあります。

県内では、ラグビーワールドカップ2019が開催される釜石鶴住居復興スタジアムの観客席、こちらは山火事で被災した釜石産杉

が利用されていますが、その塗装にも使っていただきました。

現在、国産自然塗料「U-OIL（ユーオイル）」、国産高機能木部塗料「木守り専科（きまもりせんか）」の2つが主要商品となっております。安全と高機能をウリとした木材用塗料を岩手から全国に販売しております。

東京から移住、そして現在に至るまで

私は28歳の時に東京より移住し、岩手での生活は今年で24年目になります。当時は現在のような移住に関する情報も少ない中、まずはサラリーマンとして7年を過ごしました。そこで次のことを学びました。

1. コンビニなど本部主導型ビジネスは、本部の代理戦争に巻き込まれ疲弊しがち。
2. 書店などの仕入販売業は、粗利益率が少なく、売上額が少なく大変。
3. となると、岩手が本部となるような事業、

しかも利益率が高いメーカーが理想。

しかし、岩手に本社を置いて、全国に営業所を展開する事業をつくるのは容易ではない。ならば、できるだけニッチな業界に進出し、そこで頭角を現し、全国から買いに来るような仕組みにする。

このような考えに至った後、2002年に(財)いわて産業振興センターよりインキュベーションマネージャー(起業支援者)の仕事に拜命し、個人事業主として独立。スタートアップの会社の販路開拓、資金調達等の支援をしました。翌年には県内全域から重点的に支援を行う企業を選抜し、同様の支援を行いました。この仕事を通じて、次のことを学びました。

1. 県内の産業政策は、企業誘致のような大きな雇用を生むスタイルも大事だが、売上3000万円〜1億円&社員10名以内の会社をたくさんつくる方がよいのではないか。その方がリスク分散も図れる。

2. 中小企業の育成には、事業の目利きが大仕事。その事業が本当に伸びるのか、どのように伸ばすかを見抜く目がとても大事。そんな時に自然塗料を開発していた方と出会い、ひよんな縁で当社を立ち上げることにになりました。

私は元々塗料とは何の縁もなかったのですが、その後自分で塗料をゼロから開発することになり、思うような商品ができず、約10年苦しむことになりました。しかし、高品質な木材用塗料を求める関東のお客様の協力もあり、2

し得る塗料システムを開発中です。



「100年貢献カンパニー」を目指す

本稿のタイトル「木と塗料に関わる仕事で、『社員・顧客・社会』をHappyにして、『100年貢献カンパニー』へ」は、当社の経営理念に基づくビジョンです。

苦しい時も当社を盛り立ててくれたのは社員なので、私はまず全力で社員、その家族を守り、Happyにします。次に、社員、顧客、社会、それぞれにどのようなHappyを提供するか。

例えば、社員であれば、①個を活かす、②仕事を楽しめる等々、そのために何をしたら

014年に今の主要商品であるU-OILが

完成し、その後、高機能を付加した木守り専科を開発しました。現在、リエゾン・Iの育成資金を活用し、建築基準法の防火基準に達

よいか具体的に考えるようにしています。抽象的になりがちな経営理念、ビジョンをいかに具体化し、提供するか、日々考えています。

また、全国の木材用塗料メーカーの多くは、戦後創業の70年企業となっています。世の中はIT、AIなどが主流となる中、木材用塗料は目立たない業種ですが、なくなることはありません。その中でできるだけ競合がないブルーオーシャンを確立することで、「100年貢献カンパニー」になりたいと考えています。その際、一番大事なことは「人材の育成」であると考えています。

当社は認知度が低く思うような人材が集まらない中、縁合つて入社してくれた社員を大手企業とも渡り合えるように育成してきました。一方的に教えるのではなく、ポイントだけ教えて、あとは持っているポテンシャルを引き出しただけです。岩手の人はまじめで、いいポテンシャルを持っている方がとても多いです。

また現在、仕事を通じて知り合った監査法人トーマツの谷藤雅俊先生が主催する遊友塾の事務局をさせていただき、3カ月に一度リーダーシップ、経営をテーマとする勉強会を開催しています。最近若い塾生も増え、これから県内で大いに活躍してくれると期待しています。

当社の社員にも参加を促し、一緒に100年貢献カンパニーを創っていきたいと考えています。